

ドライブ レコーダー DRIVE RECORDER TR-690

取扱説明書 本体編

この度は、当社製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。
なお、お読みになったあとは、大切に保管してください。

本機は、日常の運転をドライブレコーダーで記録し分析することで、安全運転についての改善や、効果的な運転管理を推進し、交通事故の防止および安全運転を促進する目的で製造販売しております。

microSDカードについての取り扱い注意事項

microSDカードは消耗品です。お客様のご使用状況により寿命は前後しますが、推奨交換時期は約1年となります。

microSDカードの挿入／取り出しの際は、本機からDCプラグまたは相互通信コードを外し、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してから行ってください。

microSDカードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。microSDカードによる不具合が発生した場合は、オプションのmicroSDカードと交換してください。

microSDカードを新たに購入される場合は、オプションのドライブレコーダー専用microSDカード(GDO-SD8G1/GDO-SD16G1/GDO-SD32G1/GDO-SD64G1)をおすすめします。

画像モードを変更するとmicroSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルや専用ビューアソフトが全て消去されます。

あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。

専用ビューアソフトのダウンロードについて(P43参照)

パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更(削除、追加、移動)しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

Copyright © 2017 CELLSTAR INDUSTRIES Co.,Ltd. All Rights Reserved.

Cellstarは、セルスター工業株式会社の登録商標です。

microSD™はSDアソシエーションの登録商標です。

microSD Logalは登録商標です。

Exmorはソニー株式会社の登録商標です。

その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。



はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は付属のmicroSDカードに格納しています。ファイルを削除した場合、下記URLよりダウンロードしてください。

<http://www.cellstar.co.jp/products/recorder/>

TR-690 をご購入のお客様へ

この度は、ドライブレコーダー TR-690をご購入いただき誠にありがとうございます。
本製品はCSD-690FHRをベースにした特別仕様となります。付属の取扱説明書は以下の
内容に差し替えてお読みください。また製品名の表記がCSD-690FHRとなりますが、
ご了承ください。

【変更箇所①】P37 設定一覧

TR-690 は、インポーズ表示・記録、位置情報取得の設定変更はできません。

インポーズ表示・記録：オン
位置情報取得：オン

【変更箇所②】P15 付属品の変更

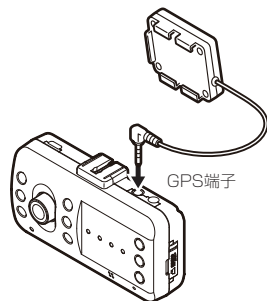
GPSユニット (GDO-14) が付属し、DCコードは直結配線用コード (3極DCプラグ) タイプと
なります。



・本製品を改造し使用すると、ドライブレコーダーやGPSユニットの故障の原因となります。
・本製品のケーブルは地デジのアンテナ部分 (ブースター及びアンテナ線) に接触しないよう、できるだけ離して配線してください。

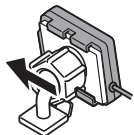
GPSユニットの取り付け方法

1 GPSユニットのプラグをドライブレコーダー本体のGPS接続端子に差し込みます。



GPS ユニットの仕様と付属品
サイズ：48(W)X40(D)X16.7(H)mm
*突起部含まず
重 量：24g
コード長：85mm
付 属 品：両面テープ

2 GPSユニットをマウントベースに取り付けます。



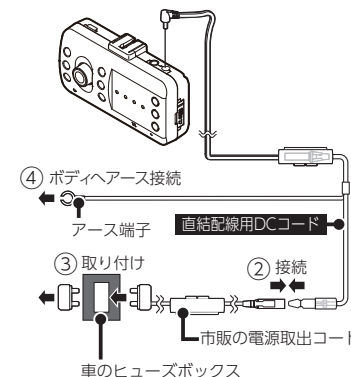
・GPSユニットに向きはありません。GPSを測位できる場所に設置してください。
・GPSユニットの使い方は、ドライブレコーダー本体の取扱説明書をお読みください。
・GPSユニットを取り付ける前に、必ず両面テープ貼り付け部分の油分や汚れなどをしっかり拭き取り、確実に取り付けてください。

本機の取り付け方法の補足

1 本体のDCソケットにDCコードを接続し、車から直接電源を取ります。

ヒューズボックスから電源を取る場合

取り付け車両に合った市販の電源取出コード (平型ヒューズタイプ) を使用してヒューズボックスから直接電源を取ります。



- ① ACCオン/オフに連動するヒューズボックス内のヒューズ (シガーライター、ラジオなど) を探します。
- ② DCコードと電源取出コードを接続します。
- ③ ヒューズボックスのヒューズを抜き、電源取出コードをバッテリー側に差し込みます。
- ④ DCコードのアース端子を車のボディに接続します。

アース端子はボディの金属部に接続してください。

【取り付けに適している場所】

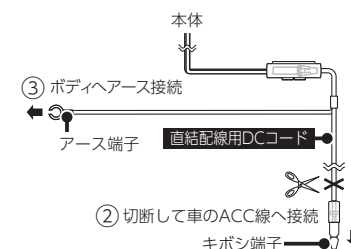
車の電装のアースポイント (コンピューター、リレーなどのアースコードを直接ボディに接続しているところ)

【取り付けに適さない場所】

- ・アンダーダッシュやセンターコンソールなど樹脂を止めているネジ (タッピングネジなど)
- ・チルトステアリング装備車で、ステアリングと一緒に動作 (上下) する金属部分

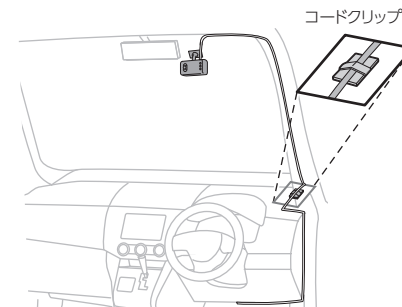
ACC線から直接電源を取る場合

市販のエレクトロタップなどを使用して、車のACC線から直接電源を取ります。



- ① テスターなどで、車のキーを ACC オンにしたときに 24V、オフにしたときに 0V になるACC線を探します。
- ② DCコードのギボシ端子を切り落とし、市販のエレクトロタップなどを使用して車のACC線へ接続します。
- ③ DCコードのアース端子を車のボディに接続します。

2 DCコードは、運転の妨げにならないよう付属のコードクリップなどを利用して、配線処理してください。



もくじ

はじめに

相互通信対応レーダーディテクターとの接続 … 4

相互通信機能について ……	4
準備 ……	4
レーダーディテクターとの接続 ……	5
レーダーディテクターの外部入力設定 ……	6
設定の変更方法 ……	7
再生モード ……	8
相互通信時のパーキングモードについて ……	9
取り付け方法（相互通信） ……	9

安全上の注意 …… 10

microSDカードについての取り扱い注意事項 ……	12
----------------------------	----

使用上の注意 …… 13

録画についての注意事項 ……	13
取り付けについての注意事項 ……	13
microSDメンテナンスフリー機能について ……	13
パーキングモードについて ……	13
ナイトビジョンについて ……	14
DGコードについて ……	14
GPSについて ……	14
アイドリングストップ車での使用について ……	14
安全運転支援機能について ……	14
専用ビューアソフトについて ……	14
カメラレンズの注意事項 ……	14

本体/付属品 …… 15

付属品 ……	15
オプション品 ……	15

各部の名称と機能 …… 16

取り付けと準備

取り付け方法 …… 17

フロントガラスに本機を設置する場合 ……	17
取り付け位置（正面） ……	17
フロントガラスへの取り付け位置（側面） ……	18
車内カメラの角度調整 ……	18
フロントガラスへの取り付け ……	18
配線処理 ……	19
ヒューズが切れた場合 ……	19
マウントベースから本体を取り外す ……	19
ダッシュボードへの取り付け ……	19

microSDカードの挿入および取り出し … 20

microSDカードの挿入 ……	20
microSDカードの取り出し ……	21

基本操作

製品の使用方法 …… 22

電源のON/OFF ……	22
エラー表示 ……	22
モード切り替え ……	23
音量調整 ……	23
オールオフ設定 ……	23

録画方法 …… 24

録画モードについて ……	24
クイック録画機能（手動） ……	25
撮影モードについて ……	26
赤外線LEDについて ……	26
パーキングモードについて ……	27
パーキングモードの動作 ……	28

各種設定

各種設定の変更 …… 29

共通：設定モードにする ……	29
画像モード設定（工場出荷時：高画質） ……	29
車内カメラ（工場出荷時：オン） ……	30
カメラ設定（工場出荷時：HDRナイトビジョン1） ……	30
音声録音（工場出荷時：オン） ……	31
3Gセンサー感度（工場出荷時：標準） ……	32
ボイス（工場出荷時：オン） ……	33
インポーズ記録（工場出荷時：オン） ……	33
録画モード（工場出荷時：常時＋イベント） ……	34
パーキングモード（工場出荷時：オフ） ……	34
パーキングモード感度（工場出荷時：標準） ……	35
日時（工場出荷時：未設定） ……	36
フォーマット ……	36
設定一覧 ……	37
画像モード設定「カスタム」時、設定内容一覧 ……	38
3Gセンサー感度「カスタム」時、設定内容一覧 ……	38

その他の機能 …… 39

安全運転支援機能 ……	39
前車発車警告 ……	39

車間距離保持警告	39
車線逸脱警告	39
安全運転支援機能の設定内容一覧	39
キャリブレーション設定	40
車種を設定する	40
地平線を調整する	40
ボンネットを調整する	40
外部モニター表示	41
GPS測位について（オプション）	42
システムリセットと強制初期化	42
システムリセット	42
強制初期化	43
ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて ..	43
専用ビューアソフトの動作環境	43

困ったときは

故障かな？と思ったら	44
------------------	----

その他

製品の仕様	45
microSDカードのデータについて ..	47

アフターサービス

アフターサービスについて	48
修理に関して	48
修理受付票	49
保証書	裏表紙

相互通信対応レーダーディテクターとの接続

相互通信機能について DC12V専用

本機と当社製相互通信対応レーダーディテクターを当社製レーダーディテクター相互通信コードで接続することにより、設定画面やカメラ映像及び再生映像をレーダーディテクターの画面に表示させることができ、レーダーディテクターのリモコンから操作できるようになります。また、GPSの位置情報や電源、OBD II の速度データもレーダーディテクターより供給され、操作音もレーダーディテクターから出力されます。

＊ 撮影モードは、相互通信時は使用できません。

＊ レーダーディテクターのGPSから録画データに日時情報が入力されます。

画像モードを変更するとmicroSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルや専用ビューアソフトが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。専用ビューアソフトのダウンロードについて（P43参照）

準備

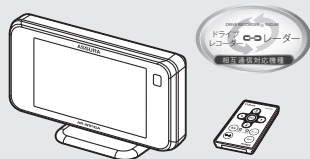
本機能を使用するには、当社製相互通信対応レーダーディテクターと当社製レーダーディテクター相互通信コードが必要です。

● レーダーディテクター相互通信コード

● 当社製相互通信対応レーダーディテクター



※レーダーディテクター
本体のイラストは、
モデルにより異なります。



本機と相互通信対応レーダーディテクターとの組み合わせによりオプションの接続コードが異なります。詳しくは、当社ホームページをご覧ください。

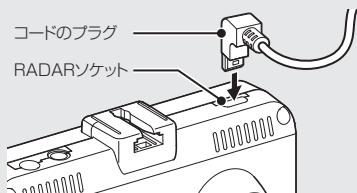
<http://www.cellstar.co.jp>

⚠ 注意

- セルスター製ドライブレコーダー専用レーダーディテクター相互通信コードです。それ以外の製品に使用することはできません。
- レーダーディテクター相互通信コードは12V車専用です。レーダーディテクターを24V車に接続した場合、本製品を取り付けないでください。故障の原因となります。
- レーダーディテクター相互通信コードを改造し使用すると、レーダーディテクターやドライブレコーダーの故障の原因となります。
- レーダーディテクター相互通信コードのケーブルは地デジのアンテナ部分（ブースター及びアンテナ線）に接触しないよう、できるだけ離して配線してください。

レーダーディテクターとの接続

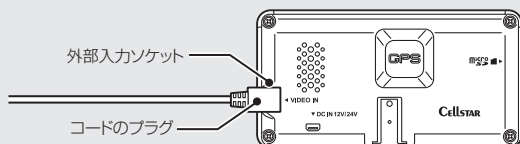
- 1 レーダーディテクターのDCコードを外し、レーダーディテクター本体の電源をOFFにする。
- 2 レーダーディテクター相互通信コードのプラグをドライブレコーダー本体のRADARソケットに差し込む。



・プラグの向きとソケットの向きに気を付けて差し込んでください。

・相互通信コードのプラグをドライブレコーダーのRADARソケット、レーダーディテクターの外部入力ソケットに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。隙間があると接続不良になり、映像出力やリモコン操作などができないことがあります。

- 3 レーダーディテクター相互通信コードのプラグをレーダーディテクターの外部入力ソケットに差し込む。



※レーダーディテクター本体のイラストは、モデルにより異なります。

- 4 レーダーディテクターのDCコードを差し込み、レーダーディテクター本体の電源をONにする。

* レーダーディテクターから電源が供給されるため、起動に時間がかかる場合があります。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

レーダーディテクターの外部入力設定

本機はレーダーディテクター相互通信用コードでレーダーディテクターと接続した場合、レーダーディテクターの画面でリモコン操作をおこないます。この時、音量調整、クイック録画以外は、本機のボタンでは操作することはできません。ご注意ください。

* 設定方法は機種によって異なります。（AR-W51GAの場合）

標準 メインメニュー	
待受画面	基本
警告	安全運転
ドライブレコーダー連携	OBD II
画像設定	外部入力(モニター)
無線LAN	ASSURA + Link
ENT：確定／戻る：戻る	

1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「外部入力（モニター）」を選び、ENTボタンを押す。

外部入力（モニター）	
✓ オン（待受、警告、ドライブレコーダー連携）	
オン（モニター）	
オフ	
ENT：確定／戻る：戻る	

2 ▲▼ボタンを押して設定内容を選び、ENTボタンを押す。

・オン（待受/警告/ドライブレコーダー連携）（工場出荷時の初期設定）

相互通信機能をオンにします。待受画面を「カメラ」または「カメラ & フルマップ」「フルマップ & カメラウィンドウ」に設定すると、本機のカメラ映像がレーダーディテクターの画面に表示されます。

・オン（モニター）

相互通信する場合は選択しないでください。

* モニター中は、リモコン操作ができません。終了するには、戻るボタンを押してください。

・オフ

相互通信機能をオフにします。

⚠ 注意

- ・レーダーディテクター相互通信用コードで本機とレーダーディテクターを接続し、レーダーディテクターのリモコンで電源をON/OFFしても、本機の電源は運動せず、供給し続けます。
- ・レーダーディテクターの電源をリモコンでOFFの状態からONにすると、本機が再起動します。
- ・レーダーディテクターの電源をリモコンでOFFにすると、本機へのGPS情報の供給がOFFになります。
- ・車内カメラを優先して映像を表示する場合、車内カメラの設定を「優先」にしてください。（P30参照）

設定の変更方法

各設定メニューを変更する場合は、以下の手順でおこないます。

専用ビューアソフトで本体の設定も可能です。詳しくは、付属のmicroSDカードに収録している専用ビューアソフトの説明書をご覧ください。

* 設定中は、録画はできません。

* 設定メニュー画面にて1分以上操作がない場合は、自動的に録画モードに切り替わります。

画像モードを変更するとmicroSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルや専用ビューアソフトが全て消去されます。
あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。
専用ビューアソフトのダウンロードについて（P43参照）

標準 メインメニュー	
待受画面	基本
警告	安全運転
ドライブレコーダー連携	OBD II
画像認識	外部入力(モニター)
無線LAN	ASSURA + Link
ENT: 確定 / 戻る: 戻る	

1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切り替え、「ドライブレコーダー連携」を選び、ENTボタンを押す。

モード切替え	
録画モード	
設定モード	>
再生モード	
▲▼: 移動 / ENT: 確定	

2 ▲▼ボタンを押して「設定モード」を選び、ENTボタンを押す。

< 設定モード	
画像モード設定	>
カメラ設定	>
音量調整	>
音声録音	>
▲▼: 移動 / ENT: 確定 / 戻る: 戻る	

3 ▲▼ボタンを押して変更したい設定項目に移動し、ENTボタンを押す。

< カメラ設定	
ノーマル	
✓ HDR	
ナイトビジョン	
HDRナイトビジョン1	
▲▼: 移動 / ENT: 確定 / 戻る: 戻る	

4 ▲▼ボタンを押して設定内容を変更し、ENTボタンを押す。

< カメラ設定	
ノーマル	
✓ HDR	
ナイトビジョン	
HDRナイトビジョン1	
▲▼: 移動 / ENT: 確定 / 戻る: 戻る	

5 引き続き他の設定を変更する場合は、戻るボタンを押してメインメニューに戻り、▲▼ボタンを押して設定メニューを選ぶ。

設定を終了してメインメニュー画面または通常画面に戻る場合は戻るボタンを押します。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

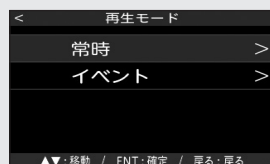
再生モード

本機で記録した映像は、レーダーディテクターで再生できます。

- * 再生モード中は、録画はできません。
- * 車内カメラで録画した映像は、外部モニター、相互通信しているレーダーディテクターまたはパソコンの専用ビューアソフトでのみ再生できます。
- * 録画映像の再生で車外カメラと車内カメラを切り替える場合、リモコンの戻るボタンを押してください。



1 ドライブレコーダー連携から、「再生モード」に移動し、**ENTボタン**を押す。



2 **【常時】** または **【イベント】** を選択する。
「再生ファイル」画面に切り替わります。
【戻る】：「再生モード」画面に戻る



3 **ファイルを選択する。**
レーダーディテクターのディスプレイで再生が開始されます。
再生ファイルが多い場合は、▲▼ボタンを押して、ページをスクロールさせます。

再生中にENTボタン：「再生ファイル」画面に戻る
再生中に戻るボタン：車外カメラと車内カメラの録画映像の切り替え

- * ファイルは、記録された時間の順に表示されます。
- * 再生ファイルは、常時録画で1分です。
- * ファイル名は実際の製品と異なります。
- * 車外カメラと車内カメラの録画映像の切り替えをおこなうと、映像は初めから再生されます。

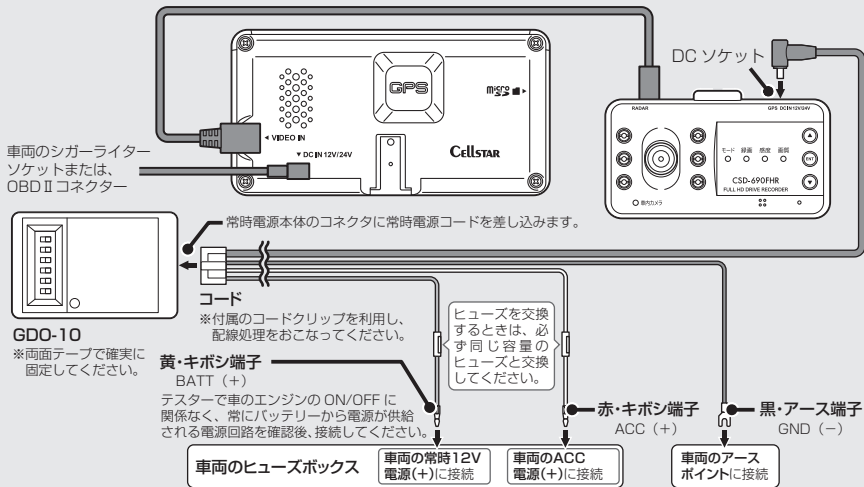
相互通信時のパーキングモードについて

エンジンがOFFになり、レーダーディテクターから電源の供給がなくなると、GDO-10によって車両バッテリーからの電源供給に切り替わります。また、レーダーディテクターからGPS情報の供給もオフになります。

- * パーキングモード中は本機内部の日時設定を参照します。
必ず、日時設定をおこなってください。（P36参照）

取り付け方法（相互通信）

レーダーディテクター相互通信用コードで本機とレーダーディテクターを接続した状態で、本機のDCソケットにGDO-10を接続します。



パーキングモードの設定方法は P27-28、P34 を参照してください。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

安全上の注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明していきます。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



危険

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が切迫して想定される」内容です。



警告

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。
* 物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。



この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。



この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。



危険

- 本機は必ず定められた電圧（DC12V/24V）でご使用ください。
 - * 火災や感電、故障の原因となります。
- 運転中に本機を操作しないでください。
 - * 交通事故の原因となります。操作する場合は、必ず車を安全な場所に停止させ操作してください。
- 本機をエアバッグが作動する近くに設置しないでください。
 - * 事故発生時にエアバッグが正常に作動しないおそれがあります。または作動したエアバッグにより負傷の原因となります。
- 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
 - * ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与えるおそれがあります。
- 水につけたり、水をかけたり、またぬれた手では絶対に操作しないでください。
 - * 火災や感電、故障の原因となります。



警告

- 本機の取り付けは、必ずエンジンを切った状態でおこなってください。
 - * 車両のキーがONの状態では取り付けると、感電および故障の原因となります。
- 本機の結合部分、スピーカーなどの穴やすき間にはピンや針などの金属を入れないでください。
 - * 誤って差し込まれた場合は、すぐ使用を中止し取り除いてください。火災、感電、および故障の原因となります。
- 本機から煙が立つ、異臭がするなどの問題が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。
 - * 火災などの原因となります。
- 本機を急激に温度が上昇する場所に長期間放置しないでください。
 - * 製品の変形および火災、爆発の原因となります。
- コードを外すときは、必ずプラグ部分を持って外してください。また破損やキズが付いたコードは使わないでください。
 - * コードが損傷したまま使用すると、感電および火災の原因となります。
- 本機の表面はシンナー、アルコール、ベンゼンなどの揮発性物質または有機溶剤で拭かないでください。またゴムとビニールなどを長期接触させないでください。
 - * 表面の変質や塗料がはげることがあり、故障および火災の原因となります。
- ▲ 本機を長時間動作した場合、レンズ部分が発熱します。直接手で触れないでください。

警告

-  本機は、ガラス面またはダッシュボード表面に正しく取り付けてください。
 - * ガラス面またはダッシュボード表面をきれいに拭いたあと、本機を正しく確実に取り付けてください。正しく取り付けしていない場合、本機がガラス面またはダッシュボード表面から外れ運転中に交通事故が発生する可能性があります。
-  電源コードまたはソケット部のほこりや汚れはよく拭いて取り除いてください。
 - * 接続不良による感電および火災の原因となります。

注意

-  本機に強い衝撃を与えないでください。
 - * 衝撃により製品の破損や故障の原因となります。
-  本機の近くに磁気性がある物を置かないでください。
 - * 製品の誤作動および故障の原因となります。
-  GPS 機能は初期作動時、起動するまでに時間がかかります。
(レーダーデテクターとの相互通信またはオプションの GPS ユニットの接続が必要)
 - * 受信環境、気象状況、および車両の位置などにより、数秒から数分かかる場合があります。
-  フロントガラスにメタルコーティングされた車両は GPS 受信障害が発生することがあります。
(レーダーデテクターとの相互通信が必要)
-  トンネル入出時のように急激に明るさが変わる場合、逆光が強い場合、夜に光源がない場合などの条件では録画品質が落ちることがあります。
-  暗い環境では、なるべく高品質で録画するために、車両のヘッドライトやフォグランプをつけてください。
-  ガラスの表面や本機のカメラレンズの表面はいつもきれいにしておいてください。
 - * ほこりや異物による乱反射や屈折現象の発生で、きれいな映像を記録することができない可能性があります。
-  本機は、推奨取付位置に設置してください。
 - * 推奨位置でない場所に設置されると記録映像がよれることがあります。
 - * 車両に応じて、よい録画ができる位置（推奨取付位置）に装着してください。
-  LED 方式の信号機では記録映像がちらつく（フリッカー）ことがあります。
-  本機の分解、修理、または改造を絶対にしないでください。
 - * 故障の原因となり保証を受けることができません。
-  本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
-  気温の低いところから高いところに本機を移した場合、本機内に結露が生じることがあります。
 - * 結露したまま使用すると故障や発熱の原因となります。使用しないでください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

V C C I - B

microSDカードについての取り扱い注意事項

 microSD カードの取り扱いには十分注意して、次の注意事項をよくお読みになりご使用ください。注意事項を守らずに発生するデータの損失および破損に関して当社は一切の責任を負いません。

 付属の microSD カードをフォーマットすると記録ファイルや専用ビューアソフトは、全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。

 microSD カードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。

 市販の microSD カードを使用した場合による、本機の動作異常に関して、当社は一切の責任を負いません。

 microSD カードをフォーマットする際は、必ず本体のフォーマット機能でおこなってください。

 microSD カードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。microSD カードによる不具合が発生した場合は、新しい指定の microSD カードと交換してください。

 microSD カードを取り出す際は、必ず本体の電源が切れたことを確認してから取り外してください。

* 本体の電源が入っている状態でmicroSDカードを取り出すと、データ損失などの原因となります。

 一般的に microSD カードには、寿命があります。（各メーカーにより異なります）

* microSDカードを長期間使用している、保証期間が切れているなどの原因でデータに異常が発生した場合、新しい指定の microSDカードと交換してください。

 microSD カードを保管、または持ち歩くときは、必ずケースに入れてください。

* ケースに入れずに保管または持ち歩くと、静電気および外部環境の原因により内部のデータが損失されることがあります。

 パソコンなどで microSD カード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

 microSD カードに本製品で記録されたデータ以外を格納しないでください。

* 正しく動作しない場合があります。

 指定の microSD カード以外は使用しないでください。

* 指定以外の microSD カードを使用すると、正常に動作しない場合があります。

 microSD カードスロットに異物を入れないでください。

* カードスロットの破損、または誤動作、故障の原因となります。

 油がついた手や濡れた手で microSD カードスロットを触らないでください。

* microSDカードの損傷、または故障などの原因となります。

 データのバックアップ、フォーマットおよび動作中には、絶対に microSD カードを取り出さないでください。

* microSDカードを損傷し、使用できなくなるおそれがあります。

 microSD カードの分解、または改造などは、絶対にしないでください。

* microSDカードが破損するおそれがあります。

 microSD カードを落下させたり、衝撃を与えないでください。

* microSDカードの破損、およびデータが損失されるおそれがあります。

 microSD カードには向きがあります。挿入するときは向きを確認して、確実に最後まで差し込んでください。

* microSDカードが正しく挿入されていないと誤動作の原因となります。

 市販の microSD カードによっては認識しにくいものや、挿入、取り出しにくいものがあります。

 microSD カードを別に購入する場合は、必ず使用可能か確認したうえでご購入ください。

* 8GB ～ 32GB（クラス10/SDHC 規格準拠、NANDタイプは「MLC」を推奨）

* 64GB（クラス10/SDXC 規格準拠、UHSスピードクラス：UHS-1以上、NANDタイプは「MLC」を推奨）

* 必ず本体にてフォーマットをおこなってください。

使用上の注意

録画についての注意事項

- ・本機は自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- ・本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機の動作を確認するため、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- ・本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- ・LED方式の信号機では記録映像がチラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、当社は一切の責任を負いません。
- ・走行中に本機を操作したり、LEDランプを注視しないでください。クイック録画／撮影機能をおこなう場合、周囲の安全を確認したうえで操作してください。
- ・夜間の録画した映像にノイズが入っているように見えたり、夜間の映像が白っぽく録画されることがありますが、正常動作です。
- ・録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。
- ・電源ONのあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。
- ・車内カメラは赤外線カメラのため、被写体により赤みが強く録画される場合があります。
- ・録画の状態により、車外カメラと車内カメラの録画映像およびGセンサーの波形がズれる場合があります。

取り付けについての注意事項

- ・本機は、本書（P17参照）にしたがって、正しく取り付けてください。
誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。また交通事故やケガの原因となります。
- ・他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。
- ・本機は防水構造ではありません。必ず車内へ取り付けてください。
- ・本機を取り付ける前に、必ずガラス面またはダッシュボードとマウントベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れなどをしっかり拭き取り、本機を確実に取り付けてください。

microSDメンテナンスフリー機能について

- ・設定した録画画質によって microSDカードにセルスター独自のファイルシステムが適応されます。
このファイルシステムでは、microSDカードに記録する際に発生してしまうファイルの断片化を無くし、録画データのエラー発生率を低減することができ、これにより定期的なフォーマットが不要となります。
- ※ 画像モード設定の変更やmicroSDカードの状態によっては、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルや専用ビューアソフトが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- ※ 付属のmicroSDカードは、工場出荷時の画像モード設定でファイルシステムが適応されています。
- ※ 新規購入したmicroSDカードは使用前に必ずフォーマットが必要となります。
- ※ パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

スーパーキャパシタについて

- ・事故の衝撃で電源ケーブルが外れてしまっても録画映像を正常に保存するまでは動作するので、撮り逃しを防ぎます。
- ※ スーパーキャパシタ：蓄電能力を持つコンデンサ。高温に強く安全性が高い。

パーキングモードについて

- ・パーキングモードは、必ずオプションの常時電源コード（GDO-10）を使用してください。直結配線用DCコードなどを接続し、直接電源を供給できる状態では、パーキングモードを設定できません。
- ・パーキングモードによる車のバッテリー上がりに関して当社は一切の責任を負いません。
- ・暗い場所など録画できない場合があります。

ナイトビジョンについて

- ・夜間、トンネル内など、少ない光量でも映像を記録できますが、走行状況によっては、白とびが発生する場合があります。ナイトビジョンまたはHDRナイトビジョン1～3で調整してください。（P30参照）

DCコードについて

- ・本機は専用のDCコード（3極DCプラグ）を使用してください。それ以外のDCコードを使用した場合、本機が正常に動作しません。

GPSについて

* レーダーディテクターとの相互通信またはオプションのGPSユニットが必要です。

- ・GPSの受信環境により、動作に時間がかかる場合があります。
- ・前回のGPS受信から72時間を経過すると超速GPSは機能しません。その他、様々な条件により機能しない場合があります。最後に電源をOFFにしてから直線距離で300km以上離れた地点で電源をONにした場合、最後に電源をOFFにして次に電源をONしたときにGPS衛星の状態が異なる場合は、動作に時間がかかる場合があります。
- ・自転車位置は、GPSの受信で測位されます。GPSが受信できない場所では、完全な自転車位置の測位をおこなうことができません。
- ・録画データに記録される日時、車両の走行速度、位置情報は、GPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。
- ・取り付けになる車両のウィンドウが熱反射ガラスの場合、電波の透過率が低いいためGPSが受信しにくい場合や、できない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合わせください。
- ・GPSの受信は、オプションのGPSユニットが優先されます。

アイドリングストップ車での使用について

- ・一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電圧が低下することがあります。これにより本体の電源が落ちる場合があります。

安全運転支援機能について

- ・「キャリブレーション」設定にて、設置する車に合わせて調整してください。（P40参照）
- ・夜間や悪天候時、また昼間でも路面や走行状況によって機能が動作しない、または頻繁に警告する場合があります。
- ・取り付けはできるだけ車両の左右の中央部に取り付けてください。中央部から外れますと判定誤差が大きくなり、警告しない、または頻繁に警告する場合があります。
- ・安全運転支援機能の動作は目安です。実際の道路状況にしたがって走行してください。
- ・安全運転支援機能による事故に関し弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・レーダーディテクターの「スカウター機能」と連動しません。

専用ビューアソフトについて

- ・専用ビューアソフトは、付属のmicroSDカードに格納しています。microSDカードをフォーマットするとプログラムが消去されてしまいます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。また、専用ビューアソフトはセルスター工業のWEBサイトからもダウンロードできます。（<http://www.cellstar.co.jp/products/recorder/>）

カメラレンズの注意事項

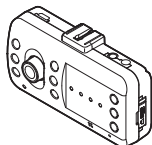
- ・本機の動作中、カメラのレンズ部分が発熱することがありますが、異常動作ではありません。レンズ部分は、大変熱くなつてますので直接手で触れないようご注意ください。

本体/付属品

付属品

本機を使用する前に、必ず同梱物を確認してください。

* その他注意書きが同梱している場合がございます。



□ドライブレコーダー本体



□マウントベース



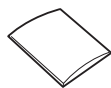
□ボールジョイント
(ダッシュボード用)



□両面テープ(透明)
(ガラス用)



□両面テープ(グレー)
(ダッシュボード用)



□脱脂クリーナー



□DCコード
(3極DCプラグ)

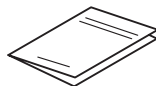


□microSDカード
(専用ビューアソフト入り)

* SDカード変換アダプタ、
SDカードケース付属



□コードクリップ × 5



□取扱説明書(本書)

オプション品

別途お買い求めください。

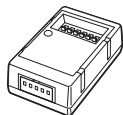
ドライブレコーダー用

●GDO-09 ビデオ出力コード



録画中の映像を外部モニター
に出力する場合に使用します。
(P41 参照)

●GDO-10 常時電源コード(3極DCプラグ)

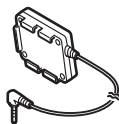


パーキングモード機能を利用する
場合に使用します。
最大 12 時間まで電源を
供給します。(P27 参照)

●GDO-13 GPSユニット (ダッシュボード設置用)



●GDO-14 GPSユニット (フロントガラス設置用)



●GDO-SD8G1/SD16G1/SD32G1/SD64G1 ドライブレコーダー専用microSDカード



●GDO-15 直結配線用DCコード(3極DCプラグ)



レーダーディテクター接続用

●レーダーディテクター相互通信用コード



詳しくは、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.cellstar.co.jp>

はじめに

取り付けと
準備

基本操
作

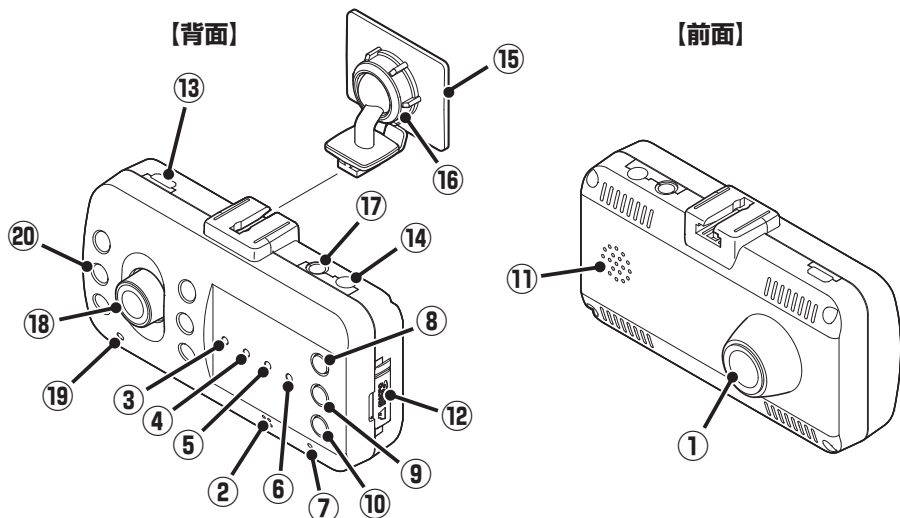
各種設
定

困ったときは

その他

アフター
サービス

各部の名称と機能



① 車外撮影用カメラレンズ

*出荷時に保護フィルムが貼られています。
剥がして使用してください。

② マイク

映像記録中の音声を録音します。

③ モードLED (3色LED)

本機の動作状態を表示します。

④ 録画LED (3色LED)

録画 / パーキングモードの動作状態を表示します。

⑤ 感度LED (3色LED)

感度センサーの設定状態を表示します。

⑥ 画質LED (3色LED)

設定された画像モードを表示します。

⑦ リセットボタン

本機を再起動します。

⑧ ▲ボタン

メニューの移動や音量調整に使用します。
*本機反転時、▼ボタンの動作となります。

⑨ ENTボタン

モードの切り替えやメニューの決定に使用します。

⑩ ▼ボタン

メニューの移動やクイック録画に使用します。
*本機反転時、▲ボタンの動作となります。

⑪ スピーカー

各種警告を音声出力します。(モノラル)

⑫ microSDカードスロット

付属または市販の microSD カードを挿入します。
* microSD カードが挿入されていないと本機は動作しません。

⑬ RADARソケット (相互通信端子)

当社製レーダーディテクター相互通信コードまたはビデオ出力コード (GDO-09) を接続します。

⑭ DCソケット

専用の DC コード (3 極プラグ) を接続し、
DC12V/24V を本機に入力します。

⑮ マウントベース

付属の両面テープでフロントガラスに取り付けます。
*ダッシュボードに取り付ける場合、ボールジョイントを付属のボールジョイント (ダッシュボード用) に交換してから取り付けてください。

⑯ 角度調整ノブ

本機の取り付け角度を調整します。

⑰ GPS端子

オプションの GPS ユニートを接続します。

⑱ 車内撮影用カメラレンズ

*出荷時に保護フィルムが貼られています。
剥がして使用してください。

⑲ 車内カメラ動作LED

車内カメラの動作状態を表示します。
*車内カメラがオフ時は消灯となります。

⑳ 赤外線LED×6

夜間でも鮮明に車内を撮影できます。

取り付け方法

⚠ 注意

本機を車両に取り付ける前に、次の内容を確認のうえ取り付けてください。

- 本機の誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。正しく取り付けてください。
- 本機を安全に取り付けるために、取り付け作業は明るく安全な場所でおこなってください。
- 本機を取り付ける前には、必ず車のエンジンを止め、キーを抜いた状態で取り付けてください。
- 本機に専用のDCコード（3極DCプラグ）以外のコードを使用しないでください。
- 本機を設置した部分のガラスは、いつもきれいに保ってください。
- 夜間走行時にはカーナビゲーションおよび、車両用モニターがフロントガラスに映り込み、記録画像に影響を与えることがあります。映り込み画像が撮影領域に入らないように角度を調整してください。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やコードがぬれないようご注意ください。

⚠ 警告

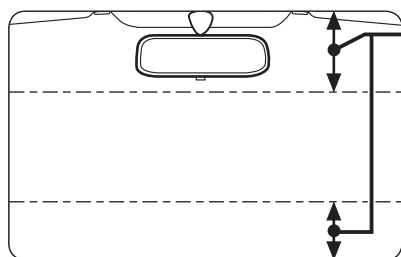
事故発生時の衝撃により本機が外れる場合がございます。ガラス面またはダッシュボード表面のマウントベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れを付属の脱脂クリーナーでしっかり拭き取り、本機を確実に取り付けてください。

画像モードを変更するとmicroSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルや専用ビューアソフトが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。専用ビューアソフトのダウンロードについて（P43参照）

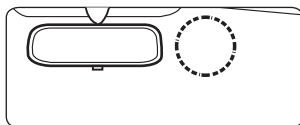
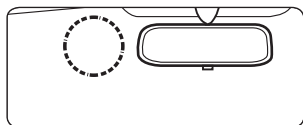
フロントガラスに本機を設置する場合

取り付け位置（正面）

フロントガラス



フロントガラス上部からフロントガラス全体の20%以内またはフロントガラス下部から150mm以内に貼り付けてください。



フロントガラスの中央部に設置できない場合は、広い視野角を活用してルームミラーの左、もしくは右側に設置することもできます。中央部に設置できない場合、録画映像が片方にかたよる可能性があります。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

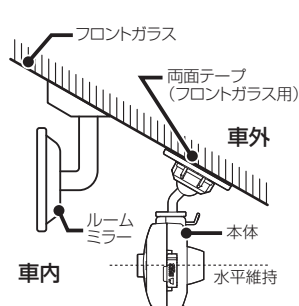
困ったときは

その他

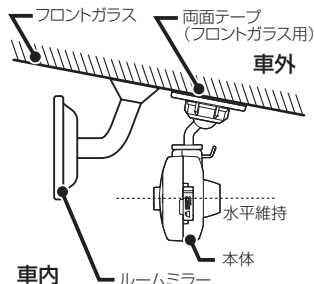
アフターサービス

フロントガラスへの取り付け位置（側面）

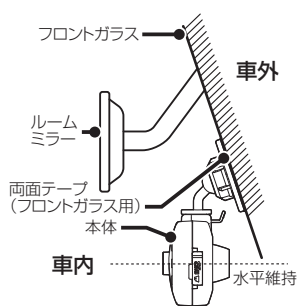
■ 一般的な乗用車



■ フロントガラスが寝ている車

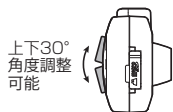


■ ワンボックスやトラックなど



- 図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。
- 本機が取り付けした状態で、図のように本体が水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。

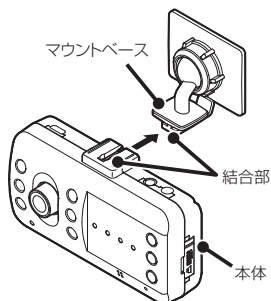
車内カメラの角度調整



車内の映像が入るよう、車内撮影用カメラレンズの角度を上下に調整してください。

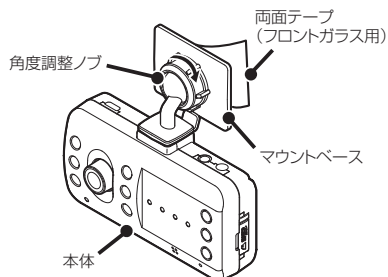
フロントガラスへの取り付け

- 1 マウントベースと本体の結合部を合わせ、矢印の方向に差し込む。



- 3 角度調整ノブを右側に回して本体を固定する。

角度調整ノブを緩めると本体の取り付け角度を調整できます。



- 2 両面テープ（フロントガラス用）を使用して本機を設置する場所に取り付ける。

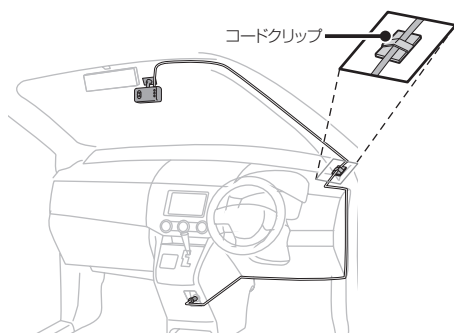
* 推奨フロントガラス設置位置を参照して、取り付けてください。

* 必要に応じて、先にマウントベースを車両側に取り付けてから本体を設置してください。

配線処理

DCコードのプラグを車両のシガーライターソケットに接続してください。

コード類は運転の妨げとならないように、付属のコードクリップなどを利用して、配線処理してください。余分なコード類はビニールテープなどでしっかり束ねてください。コード類を表面に出したくない場合は、ガラスと内張りなどの隙間やバッキン類の隙間に入れます。

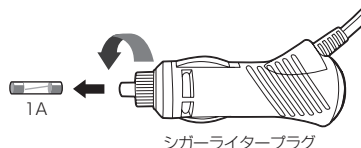


⚠ 注意

- 配線の際、エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。また、エアバッグの内蔵されている部品などを外さないでください。必要な場合は、必ずカーディーラーの指示を受けてください。コードが可動部分に挟み込まれたり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。
- コードを車のダッシュボードなどに固定した場合は、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、コードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。十分ご注意ください。

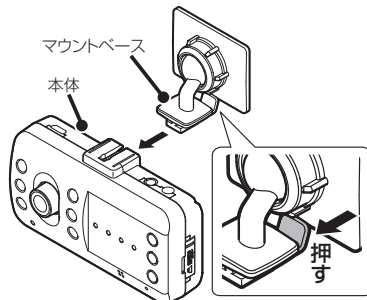
ヒューズが切れた場合

ヒューズ（1A）を交換します。



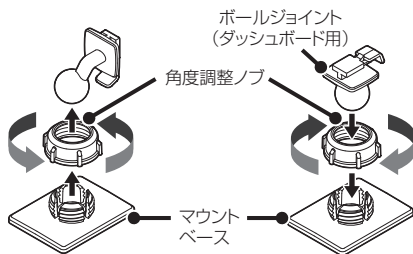
マウントベースから本体を取り外す

マウントベースのツメ部を押し、本体を矢印の方向に引き外します。



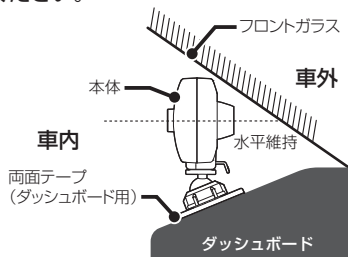
ダッシュボードへの取り付け

マウントベースから角度調整ノブを外し、ボールジョイント（ダッシュボード用）に付け替えます。



* 先にボールジョイントを角度調整ノブに差し込み、マウントベースに取り付けてください。

図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。



はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフターサービス

microSDカードの挿入および取り出し

⚠ 注意

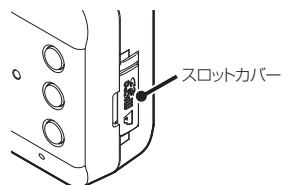
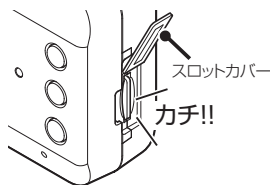
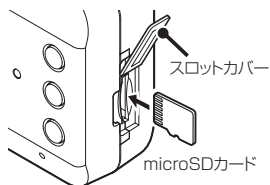
microSD カードを使う前に、次の内容を確認してください。

- ・ microSDカードは、付属のmicroSDカードをご使用ください。
指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの損失や記録できない可能性があります。
- ・ microSDカードを本体電源が入った状態で抜き差ししないでください。本機が正常に動作しない場合があります。
- ・ microSDカードを取り出すときは、車のエンジンを止めて、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してください。その後microSDカードを取り出してください。
動作LEDが点灯している状態でmicroSDカードを取り出すと録画を終了することができず、記録映像が中断されるか一部分が削除されるなど、場合によってはmicroSDカードが破損するおそれがあります。
- ・ microSDカードをフォーマットする際は、必ず本体のフォーマット機能でおこなってください。
- ・ 付属のmicroSDカードをフォーマット、または画像モードを変更すると、記録ファイルや専用ビューアソフトは全て消去されます。
あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- ・ 市販のmicroSDカードによっては認識しにくいものや、挿入、取り出しにくいものがあります。
- ・ 市販のmicroSDカードを挿入すると、カードの異常エラーを表示する場合があります。強制フォーマットをおこなってください。
(P22参照)
- ・ microSDカードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。
- ・ パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

取り付けと
準備

microSDカードの挿入

*** 必ず、本機からDCプラグまたは相互通信用コードを外し、本体の電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。**



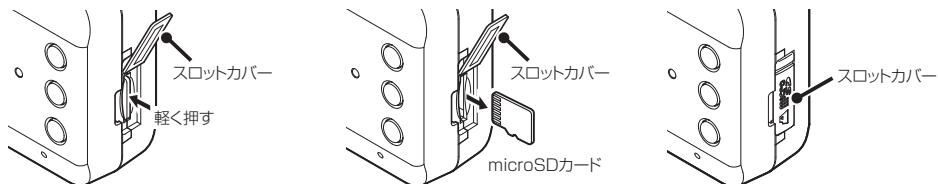
- 1 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードの向きに注意してスロットに差し込む。
- 2 microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認する。
- 3 スロットカバーを閉じる。

⚠ 注意

- ・ microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。
- ・ microSDカードには向きがあります。差し込む向きに注意して最後まで確実に挿入してください。正しく挿入されていないとmicroSDカードの破損、および誤動作の原因になります。
- ・ microSDカードの接続端子には手を触れないでください。汚れや異物が付着するとカード内のデータが損失するおそれがあります。

microSDカードの取り出し

* 必ず、本機からDCプラグまたは相互通信用コードを外し、本体の電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。



1 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードを軽く押し込む。

2 microSDカードを取り出す。

3 microSDカードを取り出したあと、スロットカバーを閉じる。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

製品の使用方法

⚠ 注意

製品を使用する前に次の内容を熟知してください。

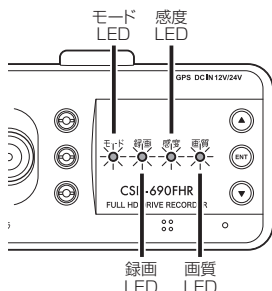
- 車の運転中は本機の操作を絶対にしないでください。
- 映像の記録は、microSDカードが正しく挿入されているときのみ可能です。
- 映像の記録中にmicroSDカードが取り出されると警告音となり、記録の映像の一部が削除される場合があります。
- 電源ONのあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

お買い求めいただき、初めてお使いになる場合

正しい記録ができるように、現在の日付および時間を設定してください。設定方法は36ページ「日時」をご覧ください。

基本操作

電源のON/OFF



■ 電源のON

本機には電源ボタンがありません。電源を入れるには、DCコードが車両に繋がれている状態で車のエンジンをかけます。

モードLEDが緑色に点灯し、数秒後効果音とボイスアシストでお知らせし、常時録画を開始します。

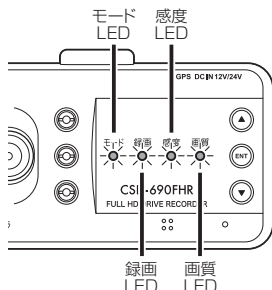
* 本機に異常があった場合、連続動作するために自動的に再起動し復帰しますが、異常動作ではありません。

■ 電源のOFF

エンジンを停止させると最後の録画ファイルを安全に保存し、LEDが消灯し、効果音のあと電源が自動的にOFFになります。

* スーパーキャパシタ（蓄電能力を持つコンデンサ）により、事故の衝撃で電源ケーブルが外れてしまっても録画映像を正常に保存します。

エラー表示



microSDカードが挿入されていない、もしくはカメラの初期化エラーなどが発生した場合は、次のようなLEDの状態とボイスアシストでお知らせします。

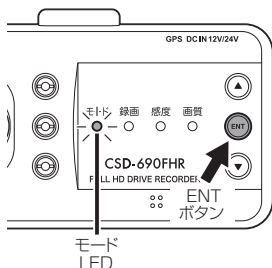
	モード LED	録画 LED	感度 LED	画質 LED	ボイスアシスト
microSDカード無し	赤色点滅	赤色点滅	赤色点滅	赤色点滅	あり
microSDカード設定エラー	緑色点滅	緑色点滅	緑色点滅	緑色点滅	なし
日時設定の異常	緑色点滅	消灯	緑色点滅	消灯	なし
カメラの異常	黄色点滅	消灯	黄色点滅	消灯	なし

* microSDカード設定エラーや日時設定の異常を表示した場合は、microSDカードを強制フォーマットする必要があります。「ピンポン」と聞こえるまでENTボタンを長押ししてください。

* カメラの異常エラーを表示した場合は、本書裏表紙記載のお客様相談窓口までお問い合わせください。

モード切り替え

各モードを切り替えるための機能です。



- 1 本機の常時録画中に**モードボタン**を押す。(1秒以内)
効果音が鳴り、▲▼ボタンでモードを切り替えます。

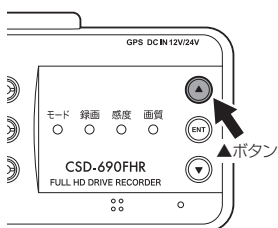
●モードの状態をモードLEDとボイスアシストでお知らせします。

モード	モードLEDの状態
録画モード	緑色点灯
設定モード	黄色点灯
再生モード	赤色点灯
撮影モード	黄色点滅

- 2 切り替えたいモードで**ENTボタン**を押す。(1秒以内)
ENTボタンを長押しすると、一つ前のメニューに戻ります。
* 1分以上操作がない場合は、自動的に録画モードに切り替わります。

音量調整

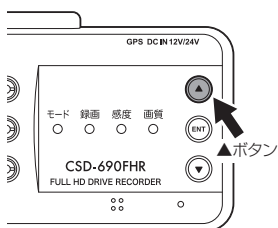
本機のスピーカーから出力される音量を調整します。



- 1 本機の常時録画と再生モード中に**▲ボタン**を押す。(1秒以内)
音量ボタンを押す度に効果音が鳴り、音量が2→1→0→3→2の順で調整されます。
* 工場出荷設定：2

オールオフ設定

全てのLED（赤外線LED含む）を消灯し、音声をミュートします。



- 1 本機の常時録画中に**▲ボタン**を長押しする。(10秒以上)
全てのLEDが消灯し、音声ミュートになります。
* 再度、▲ボタンを長押しする(10秒以上)と、効果音が鳴り、元に戻ります。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

録画方法

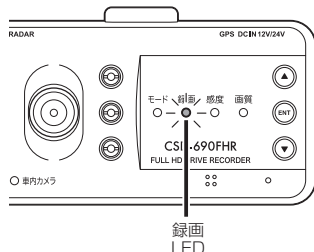
録画モードについて

車外カメラの録画

本機が動作すると同時にLEDが点滅し、車外カメラの常時録画が自動的に開始します。

録画モードの状態は、録画LEDで確認できます。(P29参照)

*記録中の音声を録音しない場合、設定で「音声録音」をオフにしてください。(P31参照)

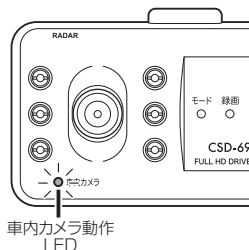


●録画モードの状態を録画LEDとボイスアシストでお知らせします。

録画モード	録画 LED の状態
常時録画	点滅
イベント録画	速い点滅
パーキングモード	遅い点滅

車内カメラの録画

車内カメラの設定がオンまたは優先の場合、車内カメラ動作LEDが緑色で点灯/点滅し常時録画が自動的に開始します。(P30参照)



* 車内カメラを録画しない場合、設定で「車内カメラ」をオフにしてください。車内カメラ動作LEDは、消灯します。

車内カメラ	車内カメラ動作 LED
オン	点灯
優先	点滅

常時録画モードとイベント録画モード

■ 常時録画モード

LED が点滅し、1 分単位で録画し続けます。



*パーキングモードでは、常時録画画質の設定によって 1 分～ 10 分まで変動します。

■ イベント録画モード（自動）

常時録画中にイベント（走行中の外部衝撃や事故）が発生した場合、常時録画を中断して、効果音と LED が点滅（速い）し、前後のイベント録画ファイルを生成します。イベント録画モード後、常時録画モードに戻ります。



*常時録画はイベント発生まで録画します。

- * イベントとは、衝撃を検知した場合という意味で使用しています。センサーが高感度に設定されている場合、細かな衝撃も検知します。センサー感度が低感度に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。「3Gセンサー感度(P32参照)」で調整することができます。
- * 車や運転の状態など様々な要因により、イベント録画にならない場合があります。
- * 記録映像がmicroSDカードの容量を超えた場合、古い記録映像データから順次自動消去されます。
- * 常時録画とイベント録画で生成されたファイルは指定のフォルダに保存されます。
- * 常時録画（microSDカード総容量の73%）、イベント録画（microSDカード総容量の20%）で分割管理されており、比率を変更することはできません。
- * 車外カメラと車内カメラの記録映像は、1つのファイルで保存されます。専用ビューアソフト以外では、正しく再生できない場合があります。
- * 録画モードでイベント録画（手動による撮影も含む）をおこなっている最中は、ボタン操作を受け付けません。ボタン操作をおこなう場合は、常時録画中におこなってください。
- * 録画中の状況により、録画のビットレートは可変します。
- * 事故等発生した場合、録画ファイルを上書きしないよう、本機からmicroSDカードを取り出して保管してください。
- * スーパーキャパシタ（蓄電能力を持つコンデンサ）により、事故の衝撃で電源ケーブルが外れてしまっても録画映像を正常に保存します。

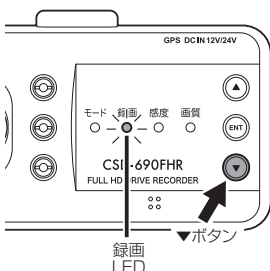
microSDカードの保存先とファイル名について

録画モード	保存フォルダ名	ファイル名	最大保存容量
常時録画モード	INFINITE	通常時 : NNF_****.avi	microSD カード総容量の 73% （最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます）
		パーキングモード : PNF_****.avi	
イベント録画モード	EVENT	通常時 : NEF_****.avi	microSD カード総容量の 20% （最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます）
		パーキングモード : PEF_****.avi	

* ファイル名の **** には、年月日ー時分秒が入ります。 例：161031ー101010

クイック録画機能（手動）

イベントを手動で録画するための機能です。記録映像はmicroSDカードの[EVENT]フォルダに保存されます。



1 本機の動作中に▼ボタンを押す。（1秒以内）

効果音が鳴り、手動にてイベント録画することができます。

●録画モードの状態を録画LEDとボイスアシストでお知らせします。

録画モード	録画 LED の状態
クイック録画	速い点滅

* 録画映像は、ボタンを押した5秒前と20秒後を含み記録します。

* この機能は、本機がイベント録画中である場合は使用できません。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

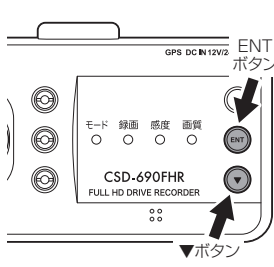
その他

アフター
サービス

撮影モードについて

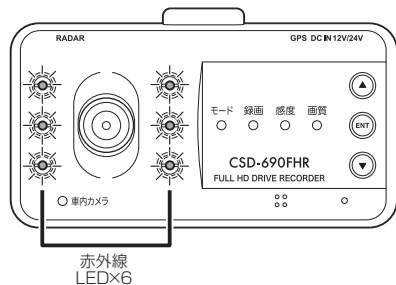
静止画で手動撮影するためのモードです。撮影した画像（JPGファイル）はmicroSDカードの[CAPTURE]フォルダに保存されます。

* microSDカード総容量の2%に保存可能です。最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます。

- 
- 1 モード切り替えで撮影モードにする。
 - 2 ▼ボタンを押す。（1秒以内）
効果音が鳴り、手動にて映像を撮影することができます。
 - 3 撮影モードを終了する場合、ENTボタンを長押し（2秒以上）してモードを切り替える。

赤外線LEDについて

赤外線LEDにより、夜間の車内カメラの映像を鮮明に記録できます。



赤外線LEDの動作

赤外線 LED オン	夏期 17:00 ～ 5:00 冬期 16:00 ～ 6:00
赤外線 LED オフ	上記時間以外

* レーダーディテクターとの相互通信時、またはオプションのGPSユニット接続時、GPSが未測位時（トンネル等）、赤外線LEDはオンになります。

* オールオフ設定時（P23参照）は、赤外線LEDはオフになります。

パーキングモードについて

オプションの常時電源コード（GDO-10）を使用するとタイマー機能、電圧監視機能により、最大12時間本機に電源を供給します。

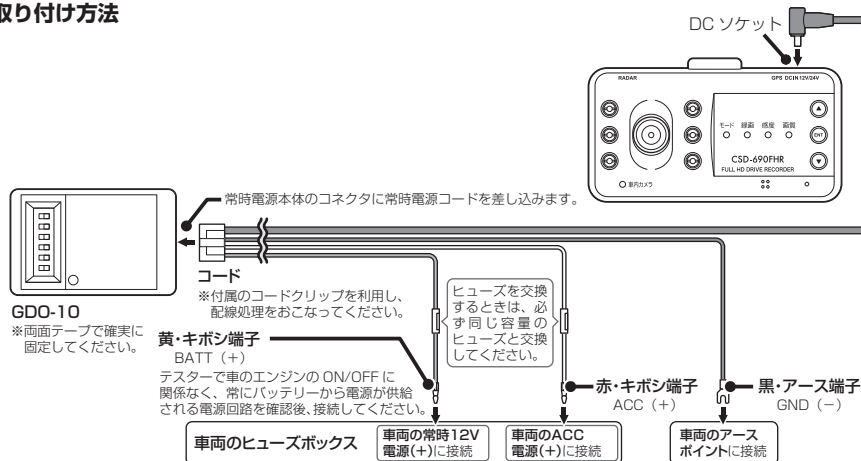
録画方式は常時録画（常時録画のカメラ画質設定により1分～約7分）、常時録画＋イベント録画から選択できます。パーキングモードは、エンジンを停止しACCがOFFになってから、しばらくすると作動します。（LEDが遅く点滅します。）

エンジンを始動し、ACCがONになると、約6秒後にパーキングモードを解除し、常時録画をおこないます。

警告

- パーキングモードは、必ずオプションの常時電源コード（GDO-10）を使用してください。直結配線用DCコードなどを接続し、直接電源を供給できる状態ではパーキングモードを設定できません。
- パーキングモードによる車のバッテリー上がりに関して当社は一切の責任を負いません。
- 暗い場所など録画できない場合があります。
- パーキングモードの設定を「オフ」にしても電源が供給されます。完全に電源の供給をオフにするには、常時電源コード（GDO-10）の時間設定を「0時間」にしてください。
- オプションの常時電源コード（GDO-05）は使用できません。
- 最大8～12時間録画する場合、オプションの32GB以上のmicroSDカードをご使用ください。

取り付け方法



- オプションの常時電源コード（GDO-10）に付属の取扱説明書をよく読み、正しく設定の上、ACCがOFFの時に接続してください。
- 本機がオプションの常時電源コードを認識できない場合やパーキングモード中、DCコードを抜いた場合、エンジンをOFFにし、本体LED消灯を確認後、エンジンをかけなおしてください。

パーキングモードの録画仕様について

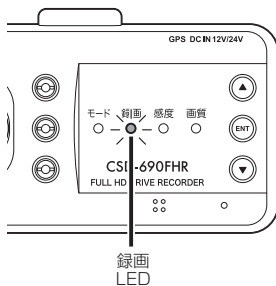
画像	D1（車内D1）
画質	低
明るさ	中
コントラスト	中
GPS	オフ

- パーキングモードのバッテリー電源供給時間は、常時電源コード（GDO-10）のディップスイッチの設定で動作します。詳しくは、オプションの常時電源コードに付属の取扱説明書をお読みください。

パーキングモードの動作

エンジンを停止し、ACCがOFFになってから、しばらくするとパーキングモードが作動し、LEDが遅く点滅します。

- ・パーキングモードの動作中、▼ボタンを押すと、LEDが速く点滅し、クイック録画をおこないます。録画後、LEDが遅く点滅します。
- ・パーキングモードの動作中、V-OUT（ビデオ出力）はオフになります。



パーキングモード設定	録画 LED の状態
常時録画	遅い緑色点滅
常時録画+イベント録画	遅い黄色点滅

パーキングモードの動作中、イベントが発生した場合

エンジンを始動し、常時録画を開始する際に、「イベント録画ファイルがあります」と音声出力し、感度LEDが緑色に点滅します。

- * パーキングモード中のイベント録画の感度は、パーキングモード感度にて調整してください。
- * 次回エンジン始動時にはお知らせしません。

各種設定の変更

共通：設定モードにする

- 1 ENTボタンを押して（1秒以内）モードを切り替える。
- 2 ▲▼ボタンを押して設定モードに移動し、ENTボタンを押して（1秒以内）確定する。
 - * 設定モード中は録画はできません。
 - * 外部モニターに接続時は、画面に設定メニューを表示し、本体ボタンで操作できます。（P41 参照）
 - * 安全運転支援機能はレーダーデテクターとの相互通信時のみ設定可能です。
 - * 位置情報取得は、オプションの GPS ユニット接続時、レーダーデテクターとの相互通信時、設定可能です。



前の設定メニューに移動
(1秒以内)



決定（1秒以内）/項目確定
(2秒以上)



次の設定メニューに移動
(1秒以内)

画像モード設定（工場出荷時：高画質）

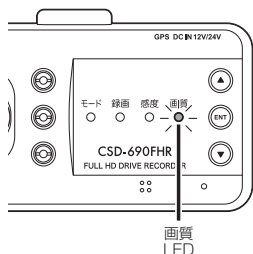
画像モード（録画画質）の設定をおこないます。

カスタムは専用ビューアまたは相互通信のレーダーデテクターで設定します。

画像モードを変更するとmicroSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルや専用ビューアソフトが全て消去されます。

あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。専用ビューアソフトのダウンロードについて（P43参照）

- 1 設定モードにする。（上記参照）
- 2 ▲▼ボタンを押して「画像モード設定」を選択し、ENTボタンを押して（1秒以内）確定する。



画像モード	画質 LED の状態	設定内容
高画質	緑色点灯	FullHD の画質で録画します。（車内 HD）
標準	黄色点灯	HD の画質で録画します。（車内 D1）
カスタム	赤色点灯	個別の設定で録画します。（P38 参照）

- 3 ▲▼ボタンを押して設定したい画像モードを選択する。
- 4 ENTボタンを長押し（2秒以上）して設定を確定する。
 - * ENT ボタンを短押し（1 秒以内）すると設定をキャンセルし、2に戻ります。
- 5 フォーマットとアナウンスしたら、ENTボタンを長押し（10秒以上）してフォーマットを実行する。
 - * 録画データ、専用ビューアなどが消去されます。事前にバックアップすることをおすすめします。
- 6 フォーマット完了後、自動的に録画モードに戻る。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

車内カメラ（工場出荷時：オン）

車内カメラの録画設定をおこないます。

* 車内カメラで録画した映像は、外部モニター、相互通信しているレーダーディテクターまたはパソコンの専用ビューアソフトでのみ再生できます。

1 設定モードにする。（P29参照）

2 ▲▼ボタンを押して「車内カメラ」を選択し、ENTボタンを押して（1秒以内）確定する。

車内カメラ	車内カメラ動作 LED の状態	設定内容
オン	緑色点灯	映像出力時、車外カメラの映像の上に小窓で車内カメラを表示します。
オフ	消灯	車内カメラで録画しません。
優先	緑色点滅	映像出力時、車内カメラの映像の上に小窓で車外カメラを表示します。

3 ▲▼ボタンを押して設定したい車内カメラの設定を選択する。

4 ENTボタンを長押し（2秒以上）して設定を確定する。
* ENT ボタンを短押し（1 秒以内）すると設定をキャンセルし、2に戻ります。

5 ENTボタンを長押し（2秒以上）して設定モードに戻る。

6 ENTボタンを長押し（2秒以上）して録画モードに戻る。

カメラ設定（工場出荷時：HDRナイトビジョン1）

録画映像補正の設定をおこないます。

* ナイトビジョンは走行状況によっては、白とびが発生する場合があります。ナイトビジョンまたはHDRナイトビジョン1～3で調整してください。

1 設定モードにする。（P29参照）

2 ▲▼ボタンを押して「カメラ設定」を選択し、ENTボタンを押す。（1秒以内）

カメラ設定	設定内容
ノーマル	録画映像に補正をしません。
HDR	HDRによる画像合成技術により、急激な明るさの変化が発生しても白とびや黒つぶれを低減して録画します。
ナイトビジョン	夜間、トンネル内など、少ない光量でも録画できます。
HDR ナイトビジョン 1	HDR とナイトビジョン（弱）をおこないます。
HDR ナイトビジョン 2	HDR とナイトビジョン（中）をおこないます。
HDR ナイトビジョン 3	HDR とナイトビジョン（強）をおこないます。

3 ▲▼ボタンを押して設定したいカメラ設定を選択する。

4 ENTボタンを長押し（2秒以上）して設定を確定する。
* ENT ボタンを短押し（1 秒以内）すると設定をキャンセルし、2に戻ります。

5 ENTボタンを長押し（2秒以上）して設定モードに戻る。

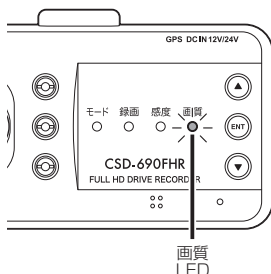
6 ENTボタンを長押し（2秒以上）して録画モードに戻る。

音声録音（工場出荷時：オン）

音声録音のオン/オフ設定をおこないます。

1 設定モードにする。（P29参照）

2 ▲▼ボタンを押して「音声録音」を選択し、ENTボタンを押す。（1秒以内）



音声録音	画質 LED の状態
オン	点灯
オフ	点滅

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

- 3 ▲▼ボタンを押して音声録音のオン/オフを選択する
- 4 ENTボタンを長押し（2秒以上）して設定を確定する。
* ENT ボタンを短押し（1 秒以内）すると設定をキャンセルし、2に戻ります。
- 5 ENTボタンを長押し（2秒以上）して設定モードに戻る。
- 6 ENTボタンを長押し（2秒以上）して録画モードに戻る。

3Gセンサー感度（工場出荷時：標準）

衝撃を感知しイベント録画モードする3Gセンサー感度の設定をおこないます。
カスタムは専用ビューアまたは相互通信のレーダーディテクターで設定します。

- 1 設定モードにする。（P29参照）
- 2 ▲▼ボタンを押して「3Gセンサー感度」を選択し、ENTボタンを押す。（1秒以内）

3G センサー感度	感度 LED の状態	設定内容
高い	点灯	3G センサーが高感度になります。
標準	点滅	3G センサーが標準になります。
低い	遅い点滅	3G センサーが低感度になります。
カスタム	点滅 + 遅い点滅	3G センサーがカスタムで設定します。

- 3 ▲▼ボタンを押して設定したい3Gセンサー感度を選択する。
- 4 ENTボタンを長押し（2秒以上）して設定を確定する。
* ENT ボタンを短押し（1 秒以内）すると設定をキャンセルし、2に戻ります。
- 5 ENTボタンを長押し（2秒以上）して設定モードに戻る。
- 6 ENTボタンを長押し（2秒以上）して録画モードに戻る。

ボイス（工場出荷時：オン）

音声案内の設定をおこないます。

- 1 設定モードにする。（P29参照）
- 2 ▲▼ボタンを押して「ボイス」を選択し、**ENTボタン**を押す。（1秒以内）
- 3 ▲▼ボタンを押してボイスのオン/オフを選択する。
- 4 **ENTボタン**を長押し（2秒以上）して設定を確定する。
* ENT ボタンを短押し（1 秒以内）すると設定をキャンセルし、2に戻ります。
- 5 **ENTボタン**を長押し（2秒以上）して設定モードに戻る。
- 6 **ENTボタン**を長押し（2秒以上）して録画モードに戻る。

インポーズ記録（工場出荷時：オン）

録画映像の画面に日時情報、相互通信時/オプションのGPSユニット接続時は現在地の緯度経度、走行速度を記録します。

- 1 設定モードにする。（P29参照）
- 2 ▲▼ボタンを押して「インポーズ記録」を選択し、**ENTボタン**を押す。（1秒以内）
- 3 ▲▼ボタンを押してインポーズ記録のオン/オフを選択する。
- 4 **ENTボタン**を長押し（2秒以上）して設定を確定する。
* ENT ボタンを短押し（1 秒以内）すると設定をキャンセルし、2に戻ります。
- 5 **ENTボタン**を長押し（2秒以上）して設定モードに戻る。
- 6 **ENTボタン**を長押し（2秒以上）して録画モードに戻る。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

録画モード（工場出荷時：常時＋イベント）

録画モードの設定をおこないます。

- 1 設定モードにする。（P29参照）
- 2 ▲▼ボタンを押して「録画モード」を選択し、ENTボタンを押す。（1秒以内）

録画モード	設定内容
常時	常時録画（1分単位）します。
常時＋イベント	常時＋イベント録画します。

- 3 ▲▼ボタンを押して設定したい録画モードを選択する。
- 4 ENTボタンを長押し（2秒以上）して設定を確定する。
* ENTボタンを短押し（1秒以内）すると設定をキャンセルし、2に戻ります。
- 5 ENTボタンを長押し（2秒以上）して設定モードに戻る。
- 6 ENTボタンを長押し（2秒以上）して録画モードに戻る。

パーキングモード（工場出荷時：オフ） * GDO-10接続時のみ設定できます。

パーキングモード中の録画モードの設定をおこないます。

- 1 設定モードにする。（P29参照）
- 2 ▲▼ボタンを押して「パーキングモード」を選択し、ENTボタンを押す。（1秒以内）

パーキングモード	録画 LED の状態	設定内容
オン常時	緑色点灯	常時録画します。 *録画時間は画像モード設定により異なります。
オン常時＋イベント	黄色点灯	常時＋イベント録画します。
オフ	赤色点灯	パーキングモードをおこないません。

3 ▲▼ボタンを押して設定したいパーキングモードを選択する。

4 ENTボタンを長押し（2秒以上）して設定を確定する。
* ENT ボタンを短押し（1 秒以内）すると設定をキャンセルし、2に戻ります。

5 ENTボタンを長押し（2秒以上）して設定モードに戻る。

6 ENTボタンを長押し（2秒以上）して録画モードに戻る。

パーキングモード感度（工場出荷時：標準）* GDO-10接続時のみ設定できます。

パーキングモード中に衝撃を感じしイベント録画モードする3Gセンサー感度の設定をおこないます。

1 設定モードにする。（P29参照）

2 ▲▼ボタンを押して「パーキングモード感度」を選択し、ENTボタンを押す。（1秒以内）

パーキングモード感度	感度 LED の状態	設定内容
高い	緑色点灯	3G センサーが高感度になります。
標準	黄色点灯	3G センサーが標準になります。
低い	赤色点灯	3G センサーが低感度になります。

3 ▲▼ボタンを押して設定したい3Gセンサー感度を選択する。

4 ENTボタンを長押し（2秒以上）して設定を確定する。
* ENT ボタンを短押し（1 秒以内）すると設定をキャンセルし、2に戻ります。

5 ENTボタンを長押し（2秒以上）して設定モードに戻る。

6 ENTボタンを長押し（2秒以上）して録画モードに戻る。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

日時（工場出荷時：未設定）

* オプションのGPSユニット接続時は、GPSから日時情報を参照するため設定できません。

microSDカード内の記録ファイルの日時より過去に設定すると、フォーマットが発生し、記録ファイルや専用ビューアソフトが全て消去されます。
あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。
専用ビューアソフトのダウンロードについて（P43参照）

録画データに記録する日時情報の設定をおこないます。

- 1 設定モードにする。（P29参照）
- 2 ▲▼ボタンを押して「日時」を選択し、ENTボタンを押す。（1秒以内）
- 3 年→月→日→時→分の順で設定をおこないます。

▲	プラス1
▼	マイナス1
ENT 長押し（2秒以上）	確定

例）2017年から2019年に変更する場合、▲ボタンを2回押し、ENT長押しで確定します。

- * ENTボタンを短押し（1秒以内）すると設定をキャンセルし、2に戻ります。
- * 相互通信時やオプションのGPSユニット接続時は、GPSによりインボース、ファイル名（P25参照）に日時が入力されます。
- * 秒または2036年以降の設定は、相互通信時や専用ビューアで設定できます。

- 4 ENTボタンを長押し（2秒以上）して設定モードに戻る。
- 5 ENTボタンを長押し（2秒以上）して録画モードに戻る。

フォーマット

microSDカードを初期化し、設定した録画画質によって microSDカードにセルスター独自のファイルシステムが適応されます。

* microSDカード内の記録ファイルや専用ビューアソフトが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。専用ビューアソフトのダウンロードについて（P43参照）

- 1 設定モードにする。（P29参照）
- 2 ▲▼ボタンを押して「フォーマット」を選択し、ENTボタンを長押しする。（10秒以上）
モードLEDと感度LEDが黄色に点灯→消灯し、フォーマットが完了する。
- 3 フォーマット完了後、自動的に録画モードに戻る。

✓ アドバイス

- ・録画モード中にENTボタンを長押し（10秒以上）するとフォーマット動作になります。再度、ENTボタンを長押し（10秒以上）するとフォーマットが実行されます。

設定一覧

- * 設定値は初期設定のものです。
- *1 レーダーディテクターとの相互通信時、設定できます。
- *2 オプションのGDO-10接続時、設定できます。
- *3 オプションのGPSユニット接続時、設定できます。
- *4 オプションのGPSユニット接続時、設定できません。

メインメニュー	設定値	設定項目
画像モード設定	高画質	高画質 標準 カスタム（相互通信時や専用ビューアで詳細設定できます）
車内カメラ	オン	オン オフ 優先（映像出力時、車内カメラを優先して表示します。P41 参照）
カメラ設定	HDR ナイトビジョン 1	ノーマル HDR ナイトビジョン HDR ナイトビジョン 1 HDR ナイトビジョン 2 HDR ナイトビジョン 3
音量調整 * 1	2	3 2 1 0
音声録音	オン	オン オフ
3G センサー感度	標準	高い 標準 低い カスタム（相互通信時や専用ビューアで詳細設定できます）
ボイス	オン	オン オフ
インボース記録	オン	オン オフ
録画モード	常時 + イベント	常時 常時 + イベント
安全運転支援機能 * 1	—	P39 参照
パーキングモード * 2	オフ	オン 常時 オン 常時 + イベント オフ
パーキングモード感度 * 2	6	10 : パーキングモード中のイベント録画の 3G センサーを高感度に設定します。 9 8 7 6 5 4 3 2 1 : パーキングモード中のイベント録画の 3G センサーを低感度に設定します。 ↓
日時 * 4	—	年/月/日/時/分/秒(秒または2036年以降の設定は相互通信時や専用ビューアのみ)
位置情報取得 * 1、* 3	オン	オン オフ
フォーマット	—	P36 参照

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

画像モード設定「カスタム」時、設定内容一覧

* 設定値は初期設定のものです。

カスタム	設定値	設定項目
画像	D1	FHD（車内 HD） HD（車内 D1） D1（車内 D1）
画質	低	高 標準 低
明るさ	中	明 中 暗
コントラスト	中	高 中 低

3Gセンサー感度「カスタム」時、設定内容一覧

* 設定値は初期設定のものです。

カスタム	設定値	設定項目
前後	6	10 : 3G センサーを高感度に設定します。
		9
		8
		7
		6
左右		5
		4
		3
		2
上下		1
		オフ : 3G センサーを低感度に設定します。 : 3G センサーをオフに設定します。

その他の機能

安全運転支援機能

- * レーダーディテクターとの相互通信時のみ設定、機能を使用できます。
- * 「キャリブレーション」設定にて、設置する車に合わせて調整してください。(P40参照)
- * 夜間や悪天候時、また昼間でも路面や走行状況によって機能が動作しない、または頻繁に警告する場合があります。
- * 取り付けはできるだけ車両の左右の中央部に取り付けてください。中央部から外れますと判定誤差が大きくなり、警告しない、または頻繁に警告する場合があります。
- * 安全運転支援機能の動作は目安です。実際の道路状況にしたがって走行してください。
- * 安全運転支援機能による事故に関し弊社は一切の責任を負いかねます。
- * レーダーディテクターの「スカウター機能」と連動しません。

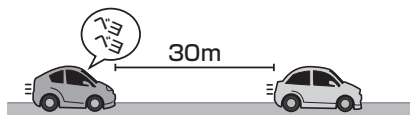
前車発車警告

停車時、前車が出発したことを警告します。



車間距離保持警告

設定した速度以上で走行時、前車との適正距離（30m）を保持するよう警告します。



車線逸脱警告

設定した速度以上で走行時、車線を逸脱すると警告します。



安全運転支援機能を使用する前に、キャリブレーションの設定（P40参照）をおこなう必要があります。

安全運転支援機能の設定内容一覧

* 設定値は初期設定のものです。

安全運転支援機能メニュー	設定値	設定項目
前車発車警告	オフ	オン オフ
車間距離保持警告	オフ	40 キロ / 50 キロ / 60 キロ / 70 キロ / 80 キロ / 90 キロ / 100 キロ オフ
車線逸脱警告	オフ	40 キロ / 50 キロ / 60 キロ / 70 キロ / 80 キロ / 90 キロ / 100 キロ オフ
キャリブレーション		画面で調整します。(P40 参照)
警告音	オン	オン オフ

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

キャリブレーション設定

安全運転支援機能を設置する車に合わせて調整します。

車種を設定する

1 キャリブレーション設定から「車種」を選択する。

2 一覧から車に近い車種を選ぶ。

- 乗用車
- SUV
- 大型車

地平線を調整する

1 画面を見て赤線が道路の先端にくるようにレーダーディテクター用リモコンの▲▼ボタンで調整する。



2 レーダーディテクター用リモコンの戻るボタンを押す。

ボンネットを調整する

1 画面を見て黄色の線の高さがボンネットの高さと同じになるようにレーダーディテクター用リモコンの▲▼ボタンで調整する。

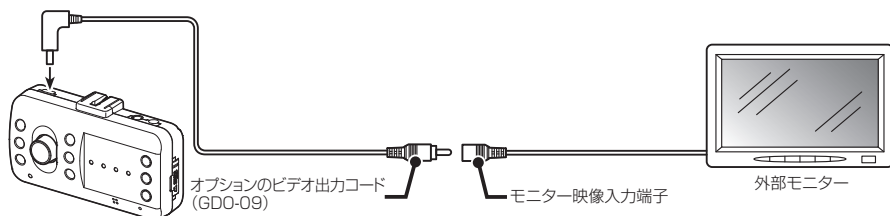


2 レーダーディテクター用のリモコンの戻るボタンを押す。

外部モニター表示

オプションのGDO-09で本体と外部モニターを接続すると、車外カメラの映像の上に小窓で車内カメラの映像が外部モニターに表示されます。（映像のみ、音声は出力されません）

■ 外部モニターとの接続



外部モニターには次のように表示されます。

車内カメラの設定	外部モニターの表示内容
オン	車内カメラの映像 車外カメラの映像
オフ	車外カメラの映像
優先	車外カメラの映像 車内カメラの映像

- * 必ずオプションのビデオ出力コード（GDO-09）をご使用ください。他のコードを使用すると映像が正しく表示されない、または誤動作を起こす場合があります。
- * モニターの種類によっては端子の形状が異なる場合があります。
- * 電源ON時、一時画像が乱れることがありますが、異常動作ではありません。
- * 録画映像の再生で車外カメラと車内カメラを切り替える場合、再生中に本機のENTボタンを長押ししてください。

外部モニターを接続すると、本機の設定メニューを表示できます。操作は本体のボタンでおこないます。

<	カメラ設定
	ノーマル
✓	HDR
	ナイトビジョン
	HDRナイトビジョン1
▲▼	移動 / ENT : 確定 / ENT長押 : 戻る



上に移動（1秒以内）



決定（1秒以内） / 項目確定（2秒以上）



下に移動（1秒以内）

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

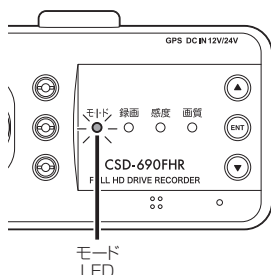
その他

アフター
サービス

GPS測位について（オプション）

GPSを利用した機能を使用するためには、相互通信またはオプションのGPSユニットの接続が必要となります。本機の電源が入ると、自動的にGPS測位がはじまります。電源ON後、GPSを測位すると測位アナウンス*をおこない、モードLEDが緑色に点滅します。（P18参照）

* 相互通信時は測位アナウンスは出力されません。



GPS	モード LED の状態
GPS 測位	緑色点滅
GPS 未測位	緑色点灯

✓ アドバイス

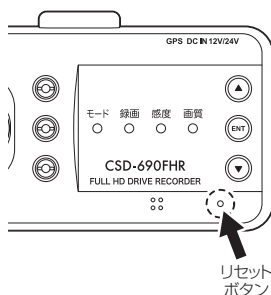
お買い求めいただいて、初めてお使いになる場合

- GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合があります（15分程度）これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。GPS測位に20分以上かかる場合は、電源を入れなおしてください。
- トンネル内、高架下、ビルの谷間、森林の中や高圧電線、高出力無線の近くなどではGPSを測位しにくくなる場合があります。
- GPS機能を使用するには、GPS測位中に限られます。

システムリセットと強制初期化

本機が誤動作したり、止まってしまった場合、システムリセットまたは強制初期化をおこなってください。

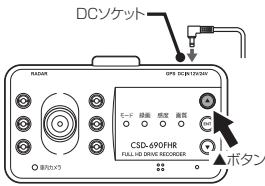
システムリセット



- 1 ピンなどを使用してリセットボタンを押す。
本機がリセットされ、再起動します。

強制初期化

- * microSDカード内の記録ファイルや専用ビューアソフトが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。専用ビューアソフトのダウンロードについて（P43参照）
- * 強制初期化をおこなうと、設定内容が工場出荷時に戻ります。



1 DCコードのプラグを抜き、電源をOFFにする。

2 ▲ボタンを押しながらDCコードのプラグを接続し、フォーマットアナウンスが出力されたら▲ボタンを離す。
microSDカードを強制的にフォーマットし、本機が初期化されます。

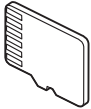
ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて

本機で録画した映像の記録データの確認や本機の設定をパソコンでおこなうことができます。

専用ビューアソフトの動作環境

- OS： Windows 7 / 8 / 10 以上
- メモリ： 1GB 以上
- HDD： 4GB 以上
- GPU： Direct X 9.0c 以上に対応するGPU

専用ビューアソフトと専用ビューアソフトの説明書は、付属のmicroSDカードに格納しています。



付属のmicroSDカード

[viewer]

[setup.exe]

[専用ビューア説明書.pdf]

専用ビューアソフトの使い方は、「専用ビューア説明書.pdf」をご覧ください。
「setup.exe」を起動すると専用ビューアソフトのインストーラーが起動します。
専用ビューア説明書の手順にしたがってインストールしてください。

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、弊社ホームページの製品ページからもダウンロードできます。
<http://www.cellstar.co.jp/products/recorder/>

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフターサービス

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

症状	考えられる原因	参照
電源が入らない	・ DCコードは、シガーライターソケットに接続されていますか。 ・ 本機のDCジャックとDCコードは接続されていますか。 ・ シガーライター用DCコードのヒューズが切れていませんか。 ・ 本機は専用のDCコード（3極DCプラグ）を使用してください。	P19、P22
	・ シガーライターソケットにタバコくすが付着していませんか。付着している場合は、タバコくすなどをきれいに拭きとってください。	—
	・ microSDカードは正しく挿入されていますか。 ※ microSD カードが挿入されていないと本機は動作しません。	P20
起動時間が長い	・ microSDカードの容量によっては起動時間が長くなることがあります。	P12
録画が開始されない	・ microSDカードは正しく挿入されていますか。 ※ microSD カードに異常がある場合もエラーとなり録画が開始されません。その場合は、microSD カードを取り換えてご使用ください。その際は指定の microSD カードをご使用ください。	P12 P20-P21
	・ microSDカード内の記録ファイルが破損した可能性があります。 ※ microSD カードをフォーマットしてください。	P36
	・ 「3Gセンサー感度」を調整してください。 ※ 使用状況に合わせて、この設定を調整することをおすすめします。	P32
急ブレーキや急加速のときでも、データが保護されない。 または直ぐに反応してしまう	・ 「3Gセンサー感度」を調整してください。 ※ 使用状況に合わせて、この設定を調整することをおすすめします。	P32
再び起動する	・ 本機に異常があった場合、連続動作するために自動的に再起動し復帰しますが、異常動作ではありません。	—
録画したデータと実際の走行状況が違う	・ レーダーディテクターとの相互通信時（OBDⅡ未接続）またはオプションのGPSユニット接続時は、車両の走行速度、位置情報をGPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。	—
パーキングモードを設定できない	・ 本機が常時電源コード（GDO-10）を認識していません。エンジンをかけなおしてください。	—
設定中に、フォーマット動作になった	・ 画像モード設定の変更をされていませんか。変更した場合、microSDカードメンテナンスフリー機能を使用するため、フォーマットが発生し、記録ファイルや専用ビューアソフトが消去されます。バックアップされていない場合、DCプラグまたは相互通信用コードを抜いて電源がOFFになっていることを確認し、microSDカードを抜きパソコンなどにファイルのコピーでバックアップをおこなうことをおすすめします。	P20
赤外線 LED が赤く光る	・ 夜間でも鮮明に車内を撮影するため、赤外線LEDが点灯します。	P23
	・ オールオフ設定、または車内カメラをオフにするで赤外線LEDは消灯します。	P26

製品の仕様

■CSD-690FHRの仕様

車外撮影用カメラ	撮像素子	200 万画素 SONY Exmor R CMOS センサー
	フレームレート	30fps
	視野角	水平 115.8°、垂直 60.2°、対角 141.8°
	F 値	2
	最低被写体照度	3LUX
車内撮影用カメラ	撮像素子	130 万画素 CMOS センサー
	フレームレート	30fps
	視野角	水平 108°、垂直 63°、対角 134°
	F 値	2.4
	最低被写体照度	5LUX (赤外線 LED 消灯時)
録画画質	FullHD	高画質 (12Mbps) / 標準 (10Mbps) / 低画質 (8Mbps)
	HD	高画質 (7Mbps) / 標準 (5Mbps) / 低画質 (3Mbps)
	D1	高画質 (2Mbps) / 標準 (1.5Mbps) / 低画質 (1Mbps)
録画画角	FullHD	水平 115.8°、垂直 60.2°、対角 141.8° * 車内 (HD) カメラは、水平 97°、垂直 51°、対角 115°
	HD	水平 115.8°、垂直 60.2°、対角 141.8° * 車内 (D1) カメラは、水平 81.8°、垂直 51°、対角 99.5°
	D1	水平 97.7°、垂直 60.2°、対角 122.4° * 車内 (D1) カメラは、水平 81.8°、垂直 51°、対角 99.5°
録画圧縮		録画 AVI(H.264)、静止画 JPEG
録画トリガ		常時録画 / 常時録画+イベント録画 / クイック録画
GPS		無し
HDR		有り
3G センサー		有り (衝撃感度 10 段階)
対応外部記憶媒体		microSD カード 8GB ~ 32GB (クラス 10/SDHC 規格準拠、NAND タイプは「MLC」を推奨)、64GB (クラス 10/SDXC 規格準拠、UHS スピードクラス: UHS-1 以上、NAND タイプは「MLC」を推奨) * 弊社オプション microSD カード推奨
記録データ		日時、加速度、走行速度*、位置情報*、映像ファイル * 対応オプション、レーダーデテクター接続時のみ
音声録音		有り (オン、オフ設定可)
外部映像出力		有り
インターネット地図連動		有り * 対応オプション、レーダーデテクター接続時のみ
電源電圧		DC12V/24V
動作温度範囲		-10℃ ~ +60℃
サイズ (*突起部含まず)		97 (W) × 26.3 (D) × 51 (H) mm * マウントベース取り付け時 82 (H) mm
本体重量		80g
VCCI		クラス B
保証期間		3 年

* 「ドライブレコーダー協議会ガイドライン」に基づく表記。

* 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

■撮影可能時間の目安（車外+車内撮影時）

常時録画 / microSD カードの容量		録画品質		
		高画質	標準	低画質
8GB	FullHD+HD	約 31 分	約 41 分	約 53 分
	HD+D1	約 62 分	約 88 分	約 116 分
	D1+D1	約 116 分	約 154 分	約 232 分
16GB	FullHD+HD	約 63 分	約 82 分	約 106 分
	HD+D1	約 125 分	約 176 分	約 232 分
	D1+D1	約 232 分	約 309 分	約 464 分
32GB	FullHD+HD	約 127 分	約 165 分	約 212 分
	HD+D1	約 250 分	約 353 分	約 464 分
	D1+D1	約 464 分	約 619 分	約 928 分
64GB	FullHD+HD	約 254 分	約 330 分	約 424 分
	HD+D1	約 500 分	約 707 分	約 928 分
	D1+D1	約 928 分	約 1238 分	約 1857 分

イベント録画 / microSD カードの容量		録画品質		
		高画質	標準	低画質
8GB	FullHD+HD	約 8 分	約 10 分	約 13 分
	HD+D1	約 16 分	約 23 分	約 31 分
	D1+D1	約 31 分	約 39 分	約 45 分
16GB	FullHD+HD	約 16 分	約 22 分	約 27 分
	HD+D1	約 33 分	約 47 分	約 63 分
	D1+D1	約 63 分	約 79 分	約 90 分
32GB	FullHD+HD	約 33 分	約 44 分	約 56 分
	HD+D1	約 66 分	約 94 分	約 127 分
	D1+D1	約 127 分	約 158 分	約 181 分
64GB	FullHD+HD	約 67 分	約 89 分	約 112 分
	HD+D1	約 133 分	約 188 分	約 254 分
	D1+D1	約 254 分	約 317 分	約 363 分

パーキングモード / microSD カードの容量		最大録画時間
8GB	D1+D1	約 3.7 時間
16GB	D1+D1	約 7.5 時間
32GB	D1+D1	約 15.2 時間
64GB	D1+D1	約 30.3 時間

* 撮影の状況、被写体などにより記録されるファイルサイズは一定でないため、記録可能時間に差が生じる場合があります。上記は、あくまでも目安となります。

* パーキングモードは、エンジンOFF（ACC）で最大12時間録画します。

microSDカードのデータについて

■microSDカードを交換された際には

- 必ず、本体のフォーマット機能でmicroSDカードをフォーマットしてください。

■データ保存について

- イベント録画フォルダ (EVENT)
イベントが発生した動画および音声、クイック録画機能で録画した動画を保存します。
(microSDカード全体容量の20%を使用*)
 - 常時録画フォルダ (INFINITE)
常時録画された1分間の動画および音声を保存します。(microSDカード全体容量の73%を使用*)
 - 撮影フォルダ (CAPTURE)
キャプチャーした画像を保存します。(microSDカード全体容量の2%を使用*)
- * フォルダ領域の比率を変更することはできません。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

アフターサービスについて

修理に関して

■ 修理に必要なもの

- ・取扱説明書（保証書欄、修理受付票記入）
- ・修理する製品

■ 保証書と修理受付票のご記入に関して

保証期間中

本書裏表紙の保証書と修理受付票（P49参照）に必要な事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。保証書の規定にしたがって無料で修理および調整させていただきます。

- * ご注意：保証期間中であっても有償修理となる場合がございますので保証規定をよくお読みください。
保証書の所定事項（製品名、お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合は、有償修理となります。
保証期間中であっても、部品入手不可能により修理ができなくなる場合があります。

保証期間が過ぎているとき

修理受付票（P49参照）に必要な事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。

■ 修理受付票に関して

修理受付票は、以下の方法でも入手できます。

郵送をご希望のお客様

カスタマーサービスまでお問い合わせください。
フリーダイヤル：0120-75-6867
（携帯電話・PHSからは、046-275-6867）

FAX でご希望のお客様

FAXサービスまでお問い合わせください。
FAX：046-275-1171（音声ガイダンス）データ番号051で24時間FAXにてお取り出しできます。

ダウンロードをご希望のお客様

インターネットブラウザより以下のアドレスにアクセスしてください。

（修理受付票PDF ダウンロード：48KB）

http://www.cellstar.co.jp/products/customer/repair_card.pdf

■ 修理をご依頼される前に

- 1 故障かな？と思ったら（P44参照）を参考に故障かどうかをご確認ください。
- 2 弊社ホームページ「お客様サポート」ー「よくあるご質問（FAQ）」をご確認ください。

3 弊社ホームページに修理金額の目安が記載されています。事前にご確認ください。

http://www.cellstar.co.jp/customer/repair_price.pdf

- * ご依頼内容の確認のため、記入後必ずコピーを取りお客様控えとしてお手元に保管してください。
- * セルスター工業アフターサービスへ修理品をご送付いただく際、迅速かつ適切な修理をおこなうため、本書裏表紙の保証書と修理受付票（P49参照）に必要な事項をご記入の上、製品に添付してください。
- * 修理品などをお送りいただく際の送料に関しては、お客様負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 名称、所在地、電話番号は変更される場合があります。ご確認ください。

■ 修理の流れ

1 ご不明な点は、弊社カスタマーサービスにご連絡ください。



0120-75-6867（無料）

【受付時間】 9：00～17：30

（土・日・祝日および、弊社休業日を除く）

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用になれない場合：046-275-6867

- * 修理する製品、保証書をお手元にご用意の上でおかけになるとスムーズにご相談いただけます。

2

修理品の送付先

セルスター工業 アフターサービス

〒518-1145

三重県伊賀市安場字東赤坂 1608-5

TEL. 0120-75-6867

お客様へのお願い

- * 修理・点検作業の際、本機は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。
- * 保証期間の有無に関わらず、送料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 運送中の衝撃などに耐えられるよう、梱包をお願いします。
- * 運送中の破損紛失などについては、弊社では一切の責任を負いません。
- * 有償修理作業完了後、代金引換便にてご返送させていただきます。（処分依頼はお受けいたしませんので、ご返却させていただきます）

個人情報の利用目的について

本機に対するお問い合わせや修理をご依頼される場合の個人情報には次の目的のみ利用されます。

- ① 当社製品・サービスに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため。
- ② 製品の企画、開発、販売促進、営業活動にお客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため。

修理受付票

製品名：TR-690

ご依頼される前に必ず取扱説明書（本書）をお読みいただき、修理受付票と、裏表紙の保証書にご記入の上、修理依頼品と一緒に添付してお送りください。

お客様ご記入欄

お客様名：		ご住所：□□□□-□□□□□□	
ご自宅電話番号：			
FAX番号：			
日中で連絡可能な電話番号：□□ 携帯電話 □ □ 勤務先 □ □ その他（ ）			
ご購入日：	microSDカードのデータ等の消失に関する同意確認 ・お預かりした製品に付属のmicroSDカードのデータは、弊社でバックアップをおこないません。修理の内容によってmicroSDカードを初期化することがあります。いかなる場合でもデータの補償はいたしません。ご了承ください。 ※本項のご署名が無い場合、修理をせずにご返却させていただきます。		
同梱した付属品：合計（ ）点	本項の内容について同意します。 ご署名		
①	お見積り連絡： □ 不要 / □ 必要（ ） 円以上の修理の場合に連絡		
②	※不要を選択の場合、お見積り金額はいたしません。なお、お見積り金額に関わらず、修理させていただきます。		
③	具体的な症状： □ 常に発生する □ 時々発生する □ 特定の条件で発生する		
④	できるだけ詳しくご記入ください。		
⑤			
⑥			
⑦			
⑧			
修理品返却先 ※上記住所以外への返却の場合にご記入ください。			
お客様名：		ご住所：	
ご自宅電話番号：			

はじめに

取り付けと
準備

基本
操作

各種
設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

保証書

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ
お受け取りになり、保証内容を良くお読みのと、大切に保管してください。

本証は、弊社の厳密な検査のもと生産、出荷されたものであることを証明し、本証の保証期間内に正常な使用状態において故障した場合には、本証記載内容のとおり無料で修理および調整をおこなうことをお約束するものです。修理をご依頼する際には修理受付票（P49参照）も併せてご記入ください。

製品名：TR-690	お買い上げ年月日： 年 月 日
販売店様 ※必ず、ご記入ください。	保証期間 3年 お買い上げ 年月日から 3年間有効
ご住所：	
お電話：	



以下の場合保証の対象外となります。

- ①本製品に付属の取扱説明書に記載された使用方法や注意事項に反した取扱によって生じた故障・破損
- ②誤用・乱用および取扱不注意による故障
- ③火災・地震・風水害・落雷・その他天災地変や公害・塩害・水掛かり・異常電圧による故障
- ④不当な修理に起因する故障や、分解・改造の痕跡がみられる故障
- ⑤使用中に生じた傷など外観上の変化
- ⑥保存状態が適切でなかった場合
- ⑦業務目的でご使用になった場合
- ⑧バッテリー・ディスプレイ・microSDカードなど消耗品および付属品の交換
- ⑨本証の提示がない場合
- ⑩本証の所定事項（お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合

- ・取付不良、接続不良、不適切な使用状態による車の故障や事故などの附随的損害の補償については一切この責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- ・本証は日本国内においてのみ有効です。また本証の再発行はいたしませんので大切に保管ください。

修理・点検をご依頼される際の注意事項

設定の記憶やお客様が情報を登録できる製品につきまして、修理・点検作業の際、本製品は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。

販売店様へのお願い 保証書欄にお買い上げ年月日、店名、ご住所、お電話番号をご記入の上、お客様へお渡しください。

お客様相談窓口

■電話でのお問い合わせ



フリーダイヤル

0120-75-6867（無料）

【受付時間】 9:00～17:30

（土・日・祝日および、弊社休業日を除く）

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用にならない場合： 046-275-6867

■メールでのお問い合わせ

お問い合わせフォームより質問を送信してください。

<https://www.cellstar.co.jp/inquiry/mail.html>

※ご返答までに1週間程度のお時間をいただく場合があります。

■セルスター工業株式会社 カスタマーサービス

〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32

各拠点一覧

■東北地区

〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字原田 158
TEL.022-218-1100（代）/ FAX.022-218-1110

■関東地区

〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野 7-17-32
TEL.046-273-1100（代）/ FAX.046-273-1106

セルスター工業（株）水戸出張所
〒310-0903 茨城県水戸市堀町795-2
TEL.029-254-6911（代）/ FAX.029-255-1420

■東海・北陸地区

〒464-0025 愛知県名古屋市中千種区桜が丘295番地
第8オオタビル 4F
TEL.052-789-0099（代）/ FAX.052-789-1510

■関西・中国・四国地区

セルスター工業（株）大阪営業所
〒562-0004 大阪府箕面市牧落 3-8-7
TEL.072-722-1880（代）/ FAX.072-722-5575

■九州地区

セルスター工業（株）福岡営業所
〒811-1314 福岡県福岡市南区的場二丁目15番 16号
TEL.092-588-1101（代）/ FAX.092-588-0057

名称、所在地、電話番号は変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

「全国自動車用品工業会会員」「ドライブレコーダー協議会会員」 <http://www.cellstar.co.jp>



セルスター工業株式会社